

測量用航空機による被災状況調査(緊急空中写真撮影)

概要 要: 宮崎県日向灘を震源とする地震の被災状況を把握するため、測量用航空機(くにかぜⅢ)にて空中写真撮影を実施。国・地方公共団体等に空中写真を提供し、被災状況把握の早期化により、災害対応での素早い判断を支援した。

府省庁名: 国土交通省

- 実施主体: 国土交通省国土地理院
- 実施場所: 宮崎県日南市
- 事業概要: 宮崎県日向灘を震源とする地震の被災状況調査のため、測量用航空機(くにかぜⅢ)にて空中写真撮影を実施(334km²)。空中写真の内閣府、国交省、農水省及び宮崎県等への提供、地理院地図での公開を通じて災害対応を支援。
- 事業費: 約1.3億円(令和6年度)
- 効果: 令和6年8月8日に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震にて、日南市は最大震度6弱を観測した。被災状況調査の際、測量用航空機で撮影した空中写真を内閣府、国交省、農水省及び宮崎県等の関係機関に提供することで、落石の発見等、被災状況の早期把握に貢献し、その後の迅速な災害対応につなげた。

日向灘を震源とする地震翌日の8/9に、測量用航空機くにかぜⅢにて宮崎県日南市東部を撮影



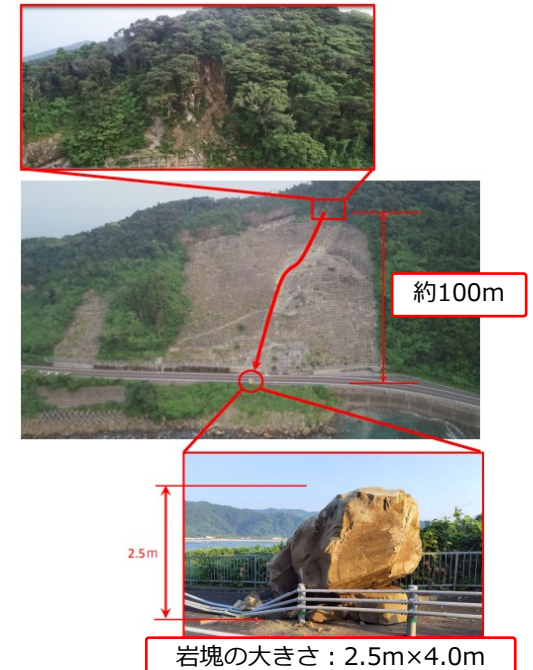
測量用航空機くにかぜⅢ



空中写真撮影箇所



落石箇所の空中写真



日南市大字宮浦において発生した落石
出典: 宮崎河川国道事務所HP